

訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の個所に誤りがありました。おわびして訂正いたします(本誌のウェブ・ページで同様の内容を掲載しています)。 (編集部)

■ 2016年4月号

● 特集 バーチャル実験室で電子回路入門

p.39 左↓2行目：初版のリリースは1983年ですから、68000系のプロセッサを使ったUNIXワークステーションが開始したころです。→初版のリリースは1973年ですからミニコン全盛の時代、

パソコンはまだ世に出ていません。

p.48 右↓15行目：ベース変調効果→ベース幅変調効果

p.74 左↑10行目：赤色は支配的な雑音を→灰色は支配的な雑音を

p.74 図1：LT1128の入力変換雑音電圧密度0.085 nV/√Hz@1 kHz→0.85 nV/√Hz

@1kHz

p.75 図2：入力換算雑音電圧密度の式(下記の式に訂正)

● サウンド・カードSDRや測定器の製作に！フルディスクリット・ミキサ

p.163 表1のミキサICのLOリーク単位：dBm→dBc

$$\text{正： } V_{RTI} = \sqrt{f_{BW}} \times \sqrt{V_N^2 + 4kTR_3 + 4kTR_1 \{R_2 / (R_1 + R_2)\}^2 + I_{N+}^2 \times R_3^2 + I_{N-}^2 \times \{R_1 R_2 / (R_1 + R_2)\}^2 + 4kTR_2 \{R_1 / (R_1 + R_2)\}^2}$$